



上渚滑小だより

学校教育目標☆☆ 「めあてに向かって進んでチャレンジする子」
 ☆くまげで学習 ☆おともやのあそび ☆はげしく勉強する子 ☆たくましく生きる子

令和5年度学校評価（前期）の結果 校長 泉 次郎

上渚滑小学校では教育活動その他の学校運営について、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等を評価することにより、改善に向けた方策を立て、上渚滑小学校の学校教育目標の実現を目指しています。「めあてに向かって進んでチャレンジする子」を育てるという目標が全ての教育活動とつながり、計画→実践→評価→改善という流れで進めています。年2回実施し、学校改善につなげていきます。7月に実施しました前期の学校評価の概要をお知らせします。

《1 教職員の自己評価》

「今年度の重点」を中心に日常の教育活動について振り返り、18の設問について評価しています。その結果、評価の高かったものとして、次の11項目があげられます。

| | 評価項目 | 評価平均 (4点満点) |
|----|--|----------------|
| 1 | 日々の授業において、他者の意見を取り入れながら、自分の考えを言葉で表現する場面を設定し、指導を行いましたか。【今年度の重点目標】 | 3.50 |
| 2 | 研究主題「自分の考えを表現する力の育成～子どもが頑張る授業づくり～」を意識し、授業の中で端末を活用して授業づくりを行っていましたか。 | 3.80 |
| 3 | 児童自らが自分の考えを持てるように、工夫し授業づくりを行っていましたか。 | 3.57 |
| 4 | 学習リーダーの役割を意識させ、学習リーダーを中心とした授業づくりを行っていましたか。 | 3.50 |
| 5 | いじめや登校渋りなど、児童が困ったときに相談できるような関係作りに努めていましたか。 | 3.57 |
| 6 | 早寝・早起き・朝ごはんなど、児童が困ったときに相談できるような関係作りに努めていましたか。 | 3.57 |
| 7 | 学校のきまりや交通ルールを守るように指導していましたか。 | 3.57 |
| 8 | 児童への指導上、必要な場合は適宜連絡を行うなど、保護者との信頼関係づくりに努めていましたか。 | 3.71 |
| 9 | 家庭で復習ができるように授業内容と関連した宿題をほぼ毎日出していましたか。 | 3.80 |
| 10 | 学級通信等で、学級の実情や課題、活動のねらいや協力してほしいことなど保護者や児童がわかりやすいように表現等を工夫し伝えていましたか。 | 3.50 |
| 11 | 新型コロナウイルス感染症に対する取組や指導など学校の統一した取組をきちんと行っていましたか。 | 3.71 |

また、改善への検討を要するものとしては、次の4項目があげられます。

| | 評価項目 | 評価平均 (4点満点) |
|---|---|----------------|
| 1 | チャレンジテストの結果を分析し、学び直しを授業で行っていましたか。 | 3.00 |
| 2 | 自分で考え、課題を見つけて家庭学習に取り組めるように継続的に指導を行いましたか。 | 3.00 |
| 3 | 将来の職業を考えさせたり、中学校の進学を見据え、発達段階を考慮し、指導を行いましたか。 | 3.00 |
| 4 | 朝読書の取組など、児童の読書習慣が定着するように、継続して指導を行いましたか。 | 3.00 |

チャレンジテストの学び直しは、夏休み明けに再度同じ問題に取り組み、児童の定着を確認し、授業等で課題に取り組んでいきます。家庭学習の指導は、タブレット端末の持ち帰りが今年度から始まり、学年の実態に応じて、指導を続けているところです。後期も引き続き、家庭学習の習慣化に取り組んでいきます。将来の職業や中学校への進学については、キャリアノート等を活用し、学年の実態を考慮し今後取組を深めていきます。朝読書の取組は定着していますが、児童の読書習慣の定着にはいたっていません。読書の楽しさや面白さを感じられるように、読み聞かせや月に2回綾別市立図書館より移動図書が来る機会を今後も有効に活用していきます。

《2 保護者アンケート》12の設問について評価しています。

| | 評価項目 | 評価平均 (4点満点) |
|----|---|----------------|
| 1 | 学校は、学校だよりをはじめとした各種通信など（ホームページ、学級通信、PTA総会、学級懇談会など）で教育方針や子どもたちの様子をわかりやすく伝えていましたか。 | 4.00 |
| 2 | 学校は、日々の教育活動の中で、児童が自分の考えを言葉で表現することができるように指導をしていましたか。【今年度の重点目標】 | 3.86 |
| 3 | 学校は、習ったことの定着や予習など、授業内容と関連した宿題を出していましたか。 | 3.86 |
| 4 | 学校は1人1台端末（クロムブック）を活用し、学習内容が定着するように授業を進めていましたか。 | 3.86 |
| 5 | 学校は、児童自ら課題を見つけて家庭学習に取り組めるように指導していましたか。 | 3.43 |
| 6 | お子さんは、友達と仲良くしたり、協力して学校生活を送ることができましたか。 | 3.57 |
| 7 | お子さんは、家庭や学校で読書をする習慣が身につけていましたか。 | 2.29 |
| 8 | お子さんは、嫌なことがあったり、困ったときに先生に相談することができましたか。 | 3.14 |
| 9 | お子さんは、早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送ることができましたか。 | 3.14 |
| 10 | お子さんは、家でのきまり（ゲーム時間や就寝時間など）を守って生活が送れましたか。 | 2.71 |
| 11 | お子さんは、交通ルールを守っていましたか。 | 3.29 |
| 12 | 学校は、新型コロナウイルス感染症への対応（授業スタイルや換気など）についてわかりやすく伝えていましたか。 | 3.86 |

※裏に続きます

(分析)

- 評価が比較的よかったものは、設問1, 2, 3, 4, 5, 6, 12です。このような評価が後期にも継続していくように今後も指導に取り組んでいきます。
- 課題がみられるものは設問7, 10です。

①設問7の読書習慣については、学校でも朝読書や移動図書など読書をする機会を適宜設け、習慣化を目指しています。しかしながら、児童自ら進んで読書をするようにするまでにはいたっていません。インターネット普及など生活環境の変化もあり、読書習慣の定着は難しくなっている現状もあります。読書の楽しさを伝えるように学校でも工夫しますので、ご家庭でもお子さんへの声かけや一緒に読書するなど、ご協力をお願いします。

②設問10の家庭でのきまりを守る意識づくりは、学校と家庭で連携して取り組むことがより効果的だと考えます。学校ではきまりを守る意味を伝えて、継続的に指導を行いますので、今後ともご指導・ご協力をお願いいたします。

～保護者からの質問について～

「新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いてきましたので、以前のように昼食後の歯みがきを再開してはいかかでしょうか。」

(回答)

「歯みがき活動の再開の見送りについて」文書でお知らせしましたように、以下の理由により再開を見送ることとなりました。

①新型コロナウイルス感染症の流行以前よりも衛生管理の意識を高めており、個人の歯ブラシやコップを学校で保管することによる衛生管理が難しいこと。

②学校における働き方改革の推進の観点から、再開を見送ったほうが良いと判断したこと。

歯みがきの習慣化を図る上で、大切な活動であることも十分検討いたしました。上記の理由により再開を見送ることになりました。ご理解・ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。

「読書の取組に力を入れてほしい。家庭でも取り組むのですが、家庭だけではなかなかうまくいきません。読解力をつけるためにも必要かと思うのですが。」

(回答)

学校評価の結果にもあるように、読書習慣については課題があると認識しています。そのため朝読書や読み聞かせ、移動図書の活動を年間を通して行っています。読書習慣の定着には、児童が「読書の楽しさ」を感じる事が欠かせません。昔と違い、今はゲームやパソコンなど児童にとり魅力的なものがあふれている現実もありますが、読書の楽しさと意義を、継続して指導していきます。ご家庭におかれましても、お子さんに読書の楽しさを伝えていただければ幸いです。

《3 児童アンケート》13の設問について評価しています。

| | 評価項目 | 評価平均 (4点満点) |
|---|--|----------------|
| 1 | 授業の発言で、自分の考えが伝わるように工夫しましたか。【今年度の重点目標】 | 3.45 |
| 2 | 委員会や係活動で、自分の考えや思いが伝わるように工夫しましたか。【今年度の重点目標】 | 3.55 |
| 3 | 授業が始まる前に、準備をして着席して待つことができましたか。 | 3.64 |
| 4 | 学習リーダーのときに、進んで授業に取り組みましたか。 | 3.55 |
| 5 | クロムブックを使うことにより、授業の内容はわかりましたか。 | 3.55 |
| 6 | 宿題は忘れずに取り組むことができましたか。 | 3.45 |

| | | |
|----|------------------------------------|------|
| 7 | 家庭学習に進んで取り組むことはできましたか。 | 3.27 |
| 8 | 友だちとなかよくしたり、協力したりすることができましたか。 | 3.45 |
| 9 | いやなことがあったり、困った時に、先生に相談することができましたか。 | 3.18 |
| 10 | 体育の授業や休み時間に進んで運動することができましたか。 | 3.27 |
| 11 | 早ね・早起き・朝ごはんなど規則正しい生活を送ることができましたか。 | 2.45 |
| 12 | 学校のきまりや交通ルールを守ることができましたか。 | 3.73 |
| 13 | 学校や家で進んで本を読むことができましたか。 | 2.55 |

(分析)

• 評価が比較的良かったものは、設問2, 3, 4, 5, 12です。これからも児童が成長できるように評価結果に安心することなく継続して指導していきます。

• 課題がみられるものは設問11, 13です。

①設問11の規則正しい生活習慣については、児童自ら課題意識を持っています。規則正しい生活習慣は健康につながり、すべての活動の基盤となります。学校でも意義を児童に説明し、指導しますが、夜遅くまで起きていることがないようにご家庭でもご指導をお願いいたします。

②設問13の読書習慣については、児童だけでなく、家庭、教職員ともに課題があると感じています。児童が読書の楽しさや意義を感じられるように、指導を継続していきます。

(今後に向けて)

われわれ上滑川小学校職員は「めあてに向かって進んでチャレンジする子」を育てるという教育目標のもと、年度の重点目標を達成するために様々な教育活動を実践しています。また、日々の教育活動における学校や各学級担任の思いや願い、考えを誠実に伝えていくとともに、児童の思いや保護者の思いや願いを受けとめていくことが教育効果を高めるためにも非常に重要だと考えています。これからも、様々な機会を通じて、保護者の皆様と連携を深めるように努めてまいります。今後ともご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

～タブレット端末の家庭での利用に関するアンケート結果から～

夏休み明けに今年度から始まった家庭でのタブレット端末の利用に関するアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。回答結果からは、“学校から帰ったら充電は概ねしっかりしている” “学習ドリルの活用状況が高い” “利用時間帯も概ね適切である” ことがわかりました。ご家庭での見守りや指導の効果が非常に大きいと考えおり、感謝しています。しかしながら「使用して良い時間が過ぎおり、注意しても中々やめない」「タブレットをあわてて閉じたり、何に使っているのか教えてくれないことがある」などの回答もありました。学校では、これからも家庭でのタブレットの活用について“保護者がわかるようにすること” “長時間の利用はしないこと” を指導していきますが、ご家庭でも活用の様子を見ていただき、ご指導をお願いいたします。また、家庭での利用について、何か気になることがありましたら、学校までお問合せください。(電話25-2516)